

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターとがくししょうまの家								
指定管理者名	特定非営利活動法人とがくししょうま				法人番号	5100005001714			
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1412	地域活動支援センターとがくししょうまの家							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室、事務室、休憩室、喫茶室、厨房								
施設設置目的	障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生活活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業者を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 								
主な実施事業	・地域活動支援センター事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人とがくししょうま			指定回数	1 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	管理運営開始日	平成30年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
		利用者数	人/日	5	5	5	5	100%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 利用定員 10人 登録人数(R2.3.31) 17人 内訳:30~40代5名、50~60代9名、70代3名 知的と精神障害が半々の割合。男性10名 女性7名									
事業実施内容		区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
市指定事業			・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務						
自主事業			オレンジカフェの開催			(追加事業) ・介護予防教室 毎週木曜日 ・自殺予防・自殺希望への対処研修 ・人権、いじめの研修 ※介護予防教室や各種研修には、地域の方々に参加いただくことができた。			
サービス維持・向上の取組み(広報等)			・しょうまの花通信の発行(年12回) ・利用者の送迎実施(火曜日~金曜日)						

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容		評価
利用者 要望把握		(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		4
		(2) 調査、会議等の内容	・利用者が話しやすいように工夫しながら、利用者からの申し入れ時や作業中の移動時等に、通常の会話による自然な形で聞き取りを行った。 ・知的障害の利用者は、自分の思いを表現できない人が多い。また、高齢の一人暮らしの利用者の場合は、本人以外の人(家族等)から意向を聴取することもできない。		
		(3) 調査、会議等の結果	・施設や職員に対する要望、不満等はなかった。 ・利用者の希望や要望は、月に1回実施する施設の行事に反映させている。		
利用者 からの 要望・ 苦情等		(1) 良好とする評価	・しょうまの家に来ることが張り合いです。 ・食事を格安で提供していただき助かる。 ・規則正しい生活ができるようになった。 ・毎日過ごす所が有るのがうれしい。 ・指導員さん達がやさしいのがうれしい。 ・自分の病気とうまく付き合うヒントをもらったとき。 ・働く事が出来てうれしいです。作業で賃金がいただけるのが楽しみ。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項	特になし		
		《対応措置》			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		3
	指定管理料	8,480,000	指定管理料	8,480,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
収入	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		3
	販売収入等	1,740,000	販売収入等	2,639,447	貸付料		貸付料		
収入	その他収入	0	その他収入	10	その他		その他		3
	計	10,220,000	計	11,119,457	計	0	計	0	
支出	人件費	7,100,000	人件費	7,020,594	指定管理料	8,480,000	指定管理料	8,480,000	3
	設備管理費	908,000	設備管理費	855,565	委託料		委託料		
支出	備品購入費	50,000	備品購入費	61,100	需用費		需用費		3
	修繕費	50,000	修繕費	0	役務費		役務費		
支出	光熱水費	130,000	光熱水費	175,411	使用料・賃借料		使用料・賃借料		3
	事業費	1,740,000	事業費	2,647,638	修繕費		修繕費		
支出	事務経費	242,000	事務経費	178,271	工事請負費		工事請負費		3
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
支出	その他		その他		その他		その他		3
	車輛維持管理		車輛維持管理						
支出	自主事業費		自主事業費						3
	賃借料		賃借料						
計	10,220,000	計	10,938,579	計	8,480,000	計	8,480,000		
自主事業	収入	250,000	収入	57,400					
自主事業	支出	250,000	支出	84,529					
自主事業	自主事業損益	0	自主事業損益	-27,129					
損益		0		153,749	差引	-8,480,000		-8,480,000	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								64.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 所長(常勤)1人(1)、支援員(常勤)1人(1)・(非常勤)2人(2)、専任職員(非常勤)1人(1)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4

6 危機管理体制

※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3	
協定内容・指定管理者提案		追加された内容、未実施の内容及びその理由
<ul style="list-style-type: none"> 豊岡荘(特別養護老人ホーム)の清掃業務を行った。 長野市衛生センターからの委託による豊岡3ヶ所のトイレ清掃を行った。 就労継続支援B型作業所からの食材(キノコ)の購入。 		(追加された内容) ・介護予防研修(毎週木曜日) ・自殺予防、自殺願望への対処研修 ・人権、いじめの研修 ※各種研修は、広く地区住民を対象に開催し、多くの方に参加いただき、問題の共有化を図ることができた。

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 68
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点		68	

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度実施されている様々な交流行事は、施設の利用者から高い評価を得ている。特に、春先・秋口の買い物ツアーは、食料や衣類の買い物ができ家族や介護施設職員者からも喜ばれています。 施設利用者に対する支援の方法について、地区の保健センター保健師と毎月1回の職員会の機会を設けて情報交換を行うことで、より細やかな対応ができています。また、高齢障害者の介護支援も情報交換で対応ができています。緊急時対応・健康状態の情報も連携の中で支援されている。 必要な保守点検の実施による施設維持管理及び防災訓練の実施による危機管理対策は講じられており、適切な事業運営が行われている。 個人情報の取り扱い、苦情解決、第三者委員の設置等の要綱の整備のほか、様々な組織内手続を実施したことから5 管理運営全般を「4」としたほか、施設利用者からの評価が良好なことから3 利用者評価を「4」とした。
------	---

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	施設利用者の高齢化及び施設立地が中山間地であることによる地域的要因等が想定されるが、利用者数の減少が予想されている。	法人として相談支援事業所を開設した後、徐々にではあるが新たな施設利用者が増える傾向が見られる。	

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設を利用した自主事業として、高齢者を対象とした“オレンジカフェ”や、新規に始めた”介護予防教室”は毎週開催され、参加も好調であることから、各種研修の開催を実施しながら、今後も、意欲的に自主事業を展開していただきたい。
--------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

- ① サービス向上に向けての取組み
 - ◎ 利用者が生きがいを持てるような日中活動支援
 - ・月1回の行事実施、お花見会、地区内散策(2回)、料理教室(2回)、七夕まつり、バーベキュー大会、クリスマス会、新年会、お買い物ツアー(2回)
 - ・大豆百粒運動への協力:大豆栽培作業(4回:種まき・除草・野獣対策・収穫・脱穀)と収穫大豆の味噌仕込みを行う。
 - ・年2回の宿泊旅行実施(1泊2日)
 - ・養蜂事業:養蜂箱のリースによるはちみつ製造
 - ・利用者の状態に応じた仕事場、創作活動等の場の提供
 - 特養豊岡荘の清掃(毎日)・市営公衆トイレの清掃(3か所 週4回)・喫茶店業務(出前・店内清掃)
 - 施設の大掃除(2回)敷地内草取り、布ぞうり作り、古紙を使用したごみ袋・ゴミ箱作り、まきストーブ焚き付け紙作り
 - ・就労支援(豊岡荘、ひゅーまにあ長野)
 - ◎ 利用者送迎の実施(火～金) ◎ 戸隠保健センター保健師との職員会(月1回)
 - ◎ しょうま通信の発行(毎月) ◎ 避難・通報訓練の実施(年2回)

② 業務の効率化に対する取組み

- ・事業の計画・業務分担をした。(利用者参画による共同計画・実施)
- ・職員が効率化を考える習慣を身につけるようにしている。
- ・協力者の育成(賛助会員の協力を得る)。ボランティア育成。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・定期的な利用者も高齢化して、介護保険の併用での日常生活になっている。指導員の手を煩わすことも増え介護者化してきている。そのため指導員の増員が必要である。
- ・今後新規利用者の確保については不透明であるが、生まれ育った戸隠での生活を継続維持させたい。
- ・登録者のうち利用頻度が高い者は施設設置前後から長期間にわたっての利用であるが、高齢化が進んでいること等から、施設利用能力の継続性の点で不安が大きい。
- ・山間地であるため自力による通所範囲が限定され、また、交通事情が悪い(バス運行時間)ため利用者個々の状態に合わせた短時間利用ができにくい。
- ・清掃業務は、参加利用者が少ない場合には職員の負担が極めて大きい。
- ・利用者及び保護者の高齢化や一人暮らしなど状況の変化により、しょうまの家利用時間帯以外の支援が必要な利用者が増加している。

(3) 総合評価

評価基準
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

オレンジカフェや障害者の集い、新規に始めた介護予防教室や地区自治協や福祉集会、周辺施設からの施設(喫茶部分)の利用があり、経営上は大過なく過ごすことができた。相談支援室の開設により地域の理解も広がり、新規の利用者にも繋がるなど、理解の輪が広がったように感じている。また、広く地区住民の方々を対象に「自殺予防、対処研修」や「人権いじめ研修」を開催し、地区の方々と問題の共有化が図れた。

② 次年度以降の取組み

地域を大切にしながら、障害者が交流できるイベントや、閉じこもり、1人暮らし高齢者等と障害者の交流が、楽しくできるように取り組む。